

ポイント

9-a 誤飲

- 気付いた時点で舌の奥を下の方へ押し、すぐに吐かせるのが原則（ただし、吐かせてはいけない場合もある）

- ①誤飲時の処置は気付いた時点ですぐに吐かせるのが原則です。舌の奥を指、スプーン、アイスクリームを食べる時に使う木のへらなどで下の方に押し、吐かせます。なかなか吐かない時（タバコ、防虫剤は除く）や液状異物の場合は水や牛乳を10～15ml/体重（kg）位飲ませてから吐かせます。
- ②ただし、以下の場合は吐かせずに病院へ連れて行きます。(1)意識障害がある、(2)けいれんを起こしている、(3)揮発性の灯油、ガソリン、ベンジン、マニキュア除光液などの誤飲、(4)強酸、強アルカリ（漂白剤やトイレ用洗剤など）の誤飲、(5)血を吐いた、(6)とがったものを誤飲した。
- ③本人の様子が落ち着いていれば、まず中毒110番（日本中毒情報センター）に電話（ダイヤルQ2、約300円/1回）で問い合わせ、指示を仰ぐようにされてもよいでしょう。誤飲物の毒性や家庭での処置についてはホームページ（<http://www.j-poison-ic.or.jp>）でも検索できます。
- ④問い合わせや病院受診の時には、お子さんの年齢、体重、誤飲物の正確な名称、誤飲した量を伝え、誤飲したものの一部や容器が残っていればそれを持参するようにしましょう。

中毒110

- つくば中毒110番（有料）電話 0990-52-9899
- 大阪中毒110番（有料）電話 0990-50-2499

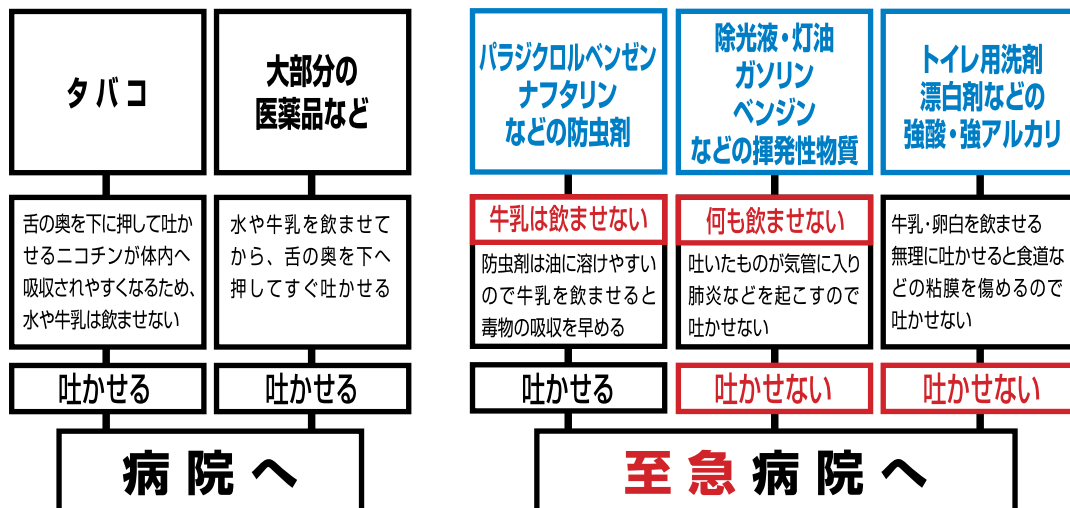
[大阪、365日24時間対応] [つくば、12/31～1/3以外の 9～17時受付]

なお参考までに以下に、少量の誤飲ではほとんど無害なものリストと誤飲の際の処置の仕方のまとめを以下に示します。

少量の誤飲ではほとんど無害なもの（少量1gまたは1ml未満）

台 所	文 房 具	化 粧 品	そ の 他
食用油 酒 冷蔵庫用脱臭剤 保冷剤 マッチの先端 ろうそく	インク クレヨン・クレパス 絵の具 鉛筆 消しゴム 墨汁・粘土・糊	石けん・おしろい・口紅 クリーム・化粧水・香水 オーデコロン ベビーオイル・乳液 ペーパーパウダー 濡れティッシュ	歯磨き・シャンプー ヘアトニック シリカゲル 使い捨てカイロ 線香・蚊取線香・マット 靴墨・花火・体温計の水銀

現場での応急手当のまとめ



- 口の中に指を入れずに、背部叩打法かハイムリッヒ法を!!

- ①玩具（小さなゴムボール〔商品名：スーパーボールなど〕）、風船、ビニール袋、キャンデー、こんにゃくゼリー、イクラなどの気道（喉頭）異物では激しい咳き込みや呼吸困難（特に息を吸う時）がみられます。気道異物の応急手当の原則は「口の中に指を突っ込んで取り出そうとしてはいけない」ということです。
 - ②乳児では自分の手で児の頭と首を固定し前腕にまたがせて、頭が下向きになるように支えて、背中をまん中を平手で4～5回叩きます（背部叩打法、図1）。
 - ③少し大きい子の場合は立て膝で大腿がうつぶせにした児のみぞおちを圧迫するようにして、頭を下げた状態で背中を平手で4～5回叩きます（背部叩打法変法、図2）。
 - ④年長児では児を後ろから抱きかかえて、腹部を上方へ圧迫します（ハイムリッヒ法、図3）。
- いずれの方法も力を加減して行わないと腹部臓器を損傷する可能性があります。

喉頭異物の処置



図1 背部叩打法（乳児）



図2 背部叩打法変法
(少し大きい子)



図3 ハイムリッヒ法（年長児）

- ⑤どうしても異物がとれずに呼吸困難が強くなってきた時は、心肺蘇生法を行いながら至急救急病院を受診してください。
- ⑥気管内異物（ピーナッツ、豆類などの誤嚥）ではかえって呼吸停止の恐れがあるため、これらの応急手当を行うことは禁止されています。